



内陳

政海之形勢を以て切迫し  
 志キ即罷律之地を以て  
 所行も中止モ究之角之  
 廟首希内之御一政決定  
 無之テハ世之上之字者毒ハ  
 増し波もシテ何如ん点之  
 直及心世成ふと島  
 免こ大世宗之如中政  
 波のふこ字之もセザル  
 へからサル要所こそゾ  
 余毒ナラフことりり世  
 探るるく何ふ乗之  
 破守タル廟上一定  
 之ハ決儀より上らな  
 け上る一荏苗抑也  
 世レセテハ何如本行本  
 世ト下落チガウ托





何れせしやハ何れあり行本  
ケハト降チガウ托  
憂ふ之ヲ去ルコトヤシ

物斯ル形勢ノ際ホシ

ナラズモ何出コトヤシ一氏

平年之大博込人云抑

皆料之義ハ何ハ義

島ハ余ア有ク又区コ

中一而徃来ク之理

研言ハ抑符料ク義ハ

毎由之概博込云ク

新事ト互博込年ラ了而

今交ハ未勢百之六金

ヲ又出セラレトヤシ

会行方モ整理ノ一書

モ定額外ノ減出サレ

又区五之ノ一補ハ抑

符料之義ハ制コトヤシ

之困ニ至ルコトヤシ

向ケルニ位儀ニ在六

策島余子希固持物



符料之呈ハ制ニ十分  
之困ニ呈シ万本ノ了ヲ集メ  
向ケルニ依儀ニ于在六  
島島ノ余子ヲ弟國持物  
勢ニ交付シ 聖命トシテ  
方持者預重命ニ于  
新強シ 國室之敬也シ  
救フツカシサル際 依儀  
ヲ示シテ 寫ル上ケルニ  
以テ本ト校シテ 以テ  
井上別院 大拜火  
成ニ于 通り虫而ヲ以テ  
閣議ニ提出シ 中ナシ  
本付ハ 以テ 山石村  
車務長 甚シク 苦シ  
大拜火 成ニ于 方持 以  
及モ 同急ニ なるニ  
計上ハ 偏ハシ 閣議ニ  
允可ナリ こと 甚シク  
至仕 了 何事



大琴之威... 于... 次  
... 回... 之  
... 偏... 之  
... 允... 之  
... 至... 之  
... 閣... 之  
... 可... 之  
... 疑... 之  
... 子... 之  
... 也

十月九日

大隈伯殿閣下